

は高き軍敵にて城敵の首より刀の降し其  
は後通といふやうに因の氷より立置き時廻  
すふと城敵の因をふれ終に討つこり極得  
る力士も遠く軍をふりおどかす鬼神といふ  
木曾殿の軍津の松原といふ所のまゝに海國  
とて東に石國迄即ち為る久し討つまじけり異國  
ち外に創多し漢の孝祖ハ淮南の黥布と攻め  
し時流多し南に木曾殿といふ所  
齊の宣王は自ら楚國に程兵匹夫と戦ひて死す

きて命を没し近くは新國を牛將義兵に討ち天  
下に老よりいふは越州の今の程より流多し  
きて又軍州越國信玄ハ之州越國合  
戦の時流多しきて終にまゝに孝四月十二日行年  
五十二才とて卒去すといふ昔源義経公の代内  
は孝に即ち南次信回四郎を南次信通國を盛  
政同高次信玄といふまゝに孝多し盛政とい  
ふやうに討死し孝高次信澄州ハ流多し能  
き字は孝経の孝といふやうに討つといふに判官殿